留学体験レポート

国際学部　２年　馬場裕也

1.はじめに

３ヶ月半の留学で多くのことに触れ、学び、成長することができました。アメリカでの日頃の生活や授業などについてまとめていきたいと思います。

2.普段の生活

留学中は学校付属の寮で生活をしていました。日本では実家暮らしをしていたので不安はありましたが、同じ大学の人との２部屋だったのでストレスなく生活できました。寮に洗濯機と乾燥機があり、無料で使うことができるので便利でした。ですが、ストレスに感じることもありました。それは食事と冷房についてです。食事は大学に３つ食堂がありそこで食べるのですが、毎日同じような食べ物なので１ヶ月ほどで食事に行くことが嫌になってきました。日本食をいくつか持って行ったので、少しはよかったですが、とても大変でした。もう１つの冷房ですが、夏でも冬でも冷房がついている時がありました。また、とても寒いので何回か体調を崩したこともあったので、室内にいる時はカーディガンや羽織るものを持って移動した方がいいと思います。

3.授業について

日本の大学にいる頃と違い、授業の開始は毎日朝９時なので高校生の頃を思い出すような日程でした。授業の内容としてはReading、Writing、communication、grammarの４つを軸に勉強をしていきます。まず、テストがあり学力に応じてのクラス分けを行い、それから分かれて日々の授業をしていきます。先生がとても親切で授業にスムーズに参加することができました。クラスにはアジアや中東の人が多くおり、特に中東の人の英語は聞き取りづらくコミュニケーションをとることが大変でしたが、いい経験でした。アメリカの文化や歴史、日本との関係を勉強するクラスもあるのでそういった面でも学ぶいい機会だと思います。授業だけでなく、宿題が毎日出るので計画的に行った方がいいと思います。エッセイやプレゼンテーションの発表など重なり、バタバタすることがあったので時間を見つけていいものにしてください。

4.休日について

休日の日は部屋にいることやジムに行っていることがほとんどでした。学校の近くに商店街のようなところがあり古着や雑貨のお店に行くことがありましたが毎日行くところでもないので退屈でした。現地にいる日本人と仲良くなり、外出している同じ大学の人もいたので、課題と遊びの時間を両立してみてください。

5.おわりに

この留学を通して、多くの人と出会い、そこから学ぶことや一緒に行動するなかで普段では体験できないことをすることができました。この留学のためにアルバイトをして良かったと思います。また、留学を許可してくれて、足りない分を出してくれた家族にとても感謝しています。今は帰国から１ヶ月以上が経ち留学していたことが夢を見ていたかのように感じることがありますが、これからも日々の勉強をし、学力の向上に努めたいと思います。